

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00～22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00～14 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	8 人	4 人	人	12 人

前回の改善計画	家族様への情報収集が不十分であり、情報共有ツール (現在は連絡ノートを使用) が有効活用できていない。新しく様式を作成し、情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りメモを用いた事で、利用者の状況を把握しやすくなった。しかし、依然として家族様からの情報収集が充分であったとは考えず、今後も継続して課題と考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		6	5	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	7	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前に情報を整理し、把握している。 事前の情報を会話の足がかりにして信頼関係を構築できるように努めている。 連絡ノートを活用し、家族様やご利用者様と意見交換を交わしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自立度の高い方や、医療ニーズの少ない利用者様への注意が希薄になってしまっている。 勤務体制の問題で、毎日の職員全体でのミーティングが難しい。 職員によって意識・意欲にバラつきがあるように感じる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 全利用者に担当職員を振り分け、担当職員が中心となり、他職員の得た情報やご本人・ご家族様の情報を集約し共有する。また、職員会議で職員間の支援内容の確認、振り返りの機会を設ける。 引き続き連絡ノートを活用し、家族様から情報収集を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00~22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00~14 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	6 人	人	12 人

前回の改善計画	更新時期に合わせて、すべての利用者に対して、情報収集を実施する。 空き時間に対するレクリエーションの実施を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	日中の関わりの中で、また家族様と接する機会に情報の収集を行ったが、更新時期に合わせた意識付けは弱かったように思われる。空き時間のレクリエーションは個別に手芸品や工作、絵葉書等を提供する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	4	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	6		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	5		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		8	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の記録を行うに当たり、各利用者の記録用紙上部に、本人の目標「～したい」を記載し意識している。 職員会議等で他職員から意見のあった内容を支援に取り入れて対応している。 記録を読み返したり、利用者様とコミュニケーションを図ったりすることで情報収集を行っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 勤務上、職員会議が夜間開催であり、職員によっては参加難しく、会議での利用者様の情報の把握が遅れることがある。 利用者様本人の意思確認が難しい方もおられ、自ら意思表示が出来る方が優先されてしまっている。 他の業務に手を取られ情報収集に時間を費やせていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者ごとに担当職員を割り振り、毎月の職員会議の場で検討事項や収集した情報を整理し、ケアプランに反映できるようにする。空き時間には引き続きレクリエーションの実施を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00～22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00～14 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	6 人	人	12 人

前回の改善計画  
日々の支援の中でマイナスの側面だけでなく、プラスの側面に焦点を当てて、情報収集・記録を行い、ケアをじっしできるようにする。  
介護が必要になる以前の生活について、ご本人・家族様などから情報収集する・

前回の改善計画に対する取組み結果  
ご利用者様とかかわる際には、出来ることに着目し、余暇時間に手作業や調理準備の際など一緒に行った。介護が必要になる以前の生活についても、情報収集を心掛けてはいたが、まだまだ不十分だったと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		2	9	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	3		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11			12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ご利用者様の体調に合わせて、食事形態の工夫や臥床の対応、また個々の状況に合わせて入浴や排泄の介助等の基本的な支援が来ている。  
ご自身で出来るところはご自身でして頂き、自立の支援を心掛けた。  
日頃から職員間でご利用者様の体調面や気になる点等、情報の交換を行い共有した。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員が得た情報を自身で完結させて、情報の共有が不十分になる事があった。  
また、他職員との口頭での引き継ぎ行うも、そのうえでの考察が不足していた。  
ご家族様からの情報を直接得る機会が少なく、もっと情報があればご本人様の生活歴・趣味に対応した余暇を提供できたのではないかと。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
職員の引き継ぎノートを活用し、職員会議で利用者様の状況を振り返りながら、情報の共有を徹底する。  
連絡ノートへの記載事項を密にし、ご家族様との情報共有のツールとする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00~22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00~14 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	7 人	人	12 人

前回の改善計画	他学区での催し物について、情報収集し、参加していただく。 利用日以外での生活について、ケアマネや送迎職員が情報収集し、職員間で情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	他学区での催し物について、他事業所とも連携を図りながら参加する事が出来た。 利用日以外での生活について、ご家族からの聞き取りや、ご本人様との日頃の関わりの中で考察できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	3	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	5		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	5	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 送迎職員はご自宅でどのように過ごされているかご家族様に尋ねている。 利用時は住み慣れた地域での買い物や散歩、ドライブなどを意識して提供している。 金銭管理が難しい利用者に対して、自立支援事業や成年後見人等の地域資源の必要性を理解している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 仕事等で忙しい、あるいは他の家族の介護や育児で時間を作れない等のご家庭の事情等から、家族様との連携が不十分なところもある。 地域での活動に対して積極的なアプローチが不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 訪問時、送迎時の情報収集を行いながら、連絡ノートを活用してより家族様と情報の交換・共有を行う。 他事業所との交流を積極的に図り、事前に情報を収集して可能な限り地域のイベントに参加する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00～22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00～14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画  
利用者が住んでいるその地域の資源の把握に努め、活用方法を模索する。  
ご利用者様・ご家族様から直接伺ったり、行政からの情報等で情報収集する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
地域資源については研修を通して、あるいは職員各自が意欲的情報収集に当たり把握に努めた。しかし必ずしも活用できていたわけではなく、取り組みとしては不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	6	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	3		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	9	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10			12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
在宅生活が困難になってきている利用者に通い利用を増回したり、体調面が危惧される方には臨時宿泊等、ご利用者様の状態・ご家族様の要望に応じることが出来ている。  
会議を通して、あるいは業務中であっても必要に応じて他職員と意見交換を行いながら支援を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
せっかく収集した情報であっても、その場でのみの対応となってしまう、情報共有が不完全になっている事がある。  
職員間でも経験値に差があり、利用者様やご家族様のニーズや、地域資源の理解を深める必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
職員各自が職員会議や外部研修へ参加し、その方にあった支援を提案できるよう、意欲を高め合える環境を整える。また、ご利用者様やご家族様、関係機関からも地域の資源について、情報の収集と共有を心がけ、積極的に活用していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00~22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00~14 : 00)

6. 連携・協働

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	6 人	2 人	12 人

前回の改善計画	勤務形態を工夫し、日曜日のイベントにも複数の職員が参加できるようにする。 非常勤職員が外部研修に参加できるよう、案内・調整を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修へ参加するために勤務調整行ったり、情報収集行い、非常勤職員が僅かでも参加する事が出来た。 日曜日のイベントへは依然として職員体制の問題から調整がつかず、あまり参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	1	9	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	9	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		4	1	7	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	5	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 可能な範囲で外部研修や地域の会議に参加している。 地域に在住の職員より情報を得て、小学校の催しや地域のイベントに参加する事が出来た。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 依然として、土日の人員不足の為イベントへの参加が難しい。 利用者の家族や、職員の家族が事業所を訪れることはあるが、地域の方の来訪はほとんどない。 職員体制や勤務時間の問題から、地域のイベントや外部研修に参加する職員が限られてきている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き日曜日のイベントにも参加できるように情報の収集と勤務調整を行う。 常勤・非常勤問わず、職員各自でも意欲を高め、外部研修に参加できるよう、調整・工夫を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00~22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00~14 : 00)

7. 運営

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	7 人	2 人	12 人

前回の改善計画	地域で防災計画を策定する取り組みを行っておられ、事業所としても地域の拠点となれるよう連携、協同する。防災訓練についても参加し、地域と連携するシュミレーションを行う。 地蔵盆以外で地域の方に事業所に来て頂くための取り組みを企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員不足等による勤務調整の為、防災訓練への参加が困難であった。また地蔵盆以外での地域との関わりに関してもあまり企画できず、次年度の課題と捉える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	2	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	4		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		3	8	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の方や利用者様、家族様から苦情等報告を受けた際は、改善がされるよう、職員間で検討し対応している。 地蔵盆を通じて地域の方と関わる機会が持っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
防災訓練への参加が出来ず、地域との連携や協働が出来ていない。 地蔵盆等の地域のイベントにも職員体制の問題もあり、積極的に参加はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
人員の配置を整え、地域の方にも来て頂けるようなイベントを企画する。 防災訓練についても参加し、地域と連携するシュミレーションを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00～22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00～14 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画

引き続き、事業所内研修外部研修で学習機会を得られるようにする。特に非常勤職員の外部研修について、人員を増やす、勤務を工夫するなど、参加できるような仕組みを作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

常勤職員は毎月の法人内研修に加え、外部の研修にも参加する事が出来た。  
また、非常勤職員に関しても、資料の配布や伝達研修を通じた学習機会を設けたり、勤務調整を行い外部研修へも可能な範囲で参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5	4	3	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	4	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	4	2	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事業所内研修については、毎月行っており、外部研修にも可能な限り参加している。また、参加できなかった場合でも、伝達研修や資料配布などで学習機会を得られている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

勤務時間内の研修は人員不足で積極的に参加する事が困難である。  
また、非常勤職員は勤務時間外の研修に時間を割く事が困難。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

積極的に研修等の情報収集を行い、勤務時間を調整し出来る限り研修へ参加できる機会をつくる。  
勤務時間内で参加できる事業所内研修の企画、また外部研修の情報収集と参加を行う。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 29 年 11 月 28 日 (20 : 00~22 : 00)  
②平成 29 年 11 月 30 日 (13 : 00~14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー ①青木、牧田、奥村、大橋、大木、中島  
②青木、田中、桐村、益田、横山、増田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画  
事務室での申し送りを定めている。プライバシーの境界線について、研修で共有する。身体面はもちろん、精神面でも相手を制限しないように介護を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職員の出勤時間がバラバラであり、フロアの見守りを行いながら事務室での申し送りの徹底は困難であった。しかし、引き継ぎノートを活用した申し送りや研修への参加等、人権・プライバシーに対する、職員間の意識は高まったと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5			12
②	虐待は行われていない	8	4			12
③	プライバシーが守られている	3	8	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	8		2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	6	1		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
参加可能な研修には参加し、職員間でも情報共有行っている。  
行動の制限をしないように心がけた声掛けを行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員間で、経験や知識にバラつきもあり、無意識で申し送りの際に個人名を聞こえるような声で伝えている事があった。  
また、業務に追われ、忙しいような雰囲気を利用者様に感じさせてしまっている事がある。  
利用者様へ同じ声掛けになりがちで、都度ご利用者様の気持ちを考察できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
引き続き事業所内研修や外部研修等に参加し、利用者様の人権・プライバシーに対する知識や意識を職員各自が高める。会議等を通じて職員間にご利用者への関わり方や意向の確認を行う機会を設ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 柘野福祉会	代表者	杉本 豊平	法人・ 事業所 の特徴	柘野福祉会グループは、京都市北区を中心に様々な事業（11分野23事業所）を運営しております。ガーデンハウス西賀茂は平成18年に開設し、平成27年3月に新事業所に移転しました。小規模多機能の特性を活かして、地域に密着した温かい事業所を目指しております。
事業所名	ガーデンハウス西賀茂	管理者	青木 雄一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	1人	1人	人	1人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所周辺の地域のみでなく、大宮学区以外の利用者の方がお住まいの地域の情報を収集し、地域とのつながりを強められるよう、行事に参加するなど、積極的に取り組んでいく。</li> <li>・常勤職員のみならず、非常勤職員も外部研修等で学ぶ。</li> <li>・地蔵盆以外でも地域の方に事業所に来ていただく機会を増やす。</li> <li>・地域の防災訓練に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の収集が不足していたと感じ、行事への参加につながらなかったと思われる。</li> <li>・常勤、非常勤ともに外部研修へ参加する機会を設け学習する事が出来た。</li> <li>・地蔵盆では地域の方との交流出来ているが、その他はあまり交流機会を設けることが出来なかった。</li> <li>・職員の調整がつかず、地域の防災訓練にも参加出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を通じて事業所の事を深く知ることが出来た。</li> <li>・直接は見えない部分もあるが、行事や研修等には参加されていると思う。</li> <li>・地域の防災訓練には、実際の役割や動きを確認するためにも参加してもらえたらと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事やイベント等へ参加できるように、引き続き情報の収集に努め参加出来る様に取り組んでいく。</li> <li>・全職員が専門職としての意識を高め合えるよう、職員会議や研修内容を充実する。</li> </ul>
B. 事業所の しつらえ・環境	利用者様が居心地いい空間を作り、ご家族様や地域の方も参加していただけるような行事の開催や、庭を活かした取り組みなどを継続して行っていく。	季節に応じたイベントやフロアの装飾等、居心地のいい空間作りに努めることが出来たと思う。しかしご家族様や地域の方が参加頂く機会は少なかったように思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関扉が外部からはロックが掛っており、防犯の為と理解は出来るが、判断が難しかった。</li> <li>・年間を通じていろいろとイベントを計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様に季節を通じて居心地いい空間が継続できるように、和室やお庭の活用、フロアの装飾を行っていく。</li> <li>・地域の方への見学の案内や家族会の開催を行っていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	移転して2年が経ち、町内会での取り組みなどから、近隣の方に事業所のことを知っていただくことはできているように思う。しかし、少し離れた地域の方には知られていないため、大宮学区以外の行事や研修会などにも積極的に参加し、広く事業所を知っていただく機会を増やす。	地蔵盆を通じて今年も地域の方と交流を図る事が出来ていたと思う。しかし、研修会や行事への参加はなかなか出来なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年地蔵盆等は地域の方と交流を図る良い機会なので今後も継続していけたらと思う。</li> <li>・研修への参加や見学を通して、事業所のサービス内容や、役割を改めて確認できた。</li> <li>・困りごとがあれば、気軽に相談することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が気軽に事業所に訪れられるようなイベントを計画していく。</li> <li>・地域のイベントや会議等へ事業所の職員が参加出来る様に調整する。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわる機会が少ない。利用者と一緒に行事やイベントに参加していただくなど、かかわりを深められるような機会を増やす。</li> <li>・引き続き、利用者本人が住んでいる地域の行事にも参加できるよう、情報収集・計画をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年に比べ地域の行事への参加が少なかったと思う。情報収集が不足しており、また職員の参加できる機会を設けることが出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方と一緒に近くの喫茶店や公園に外出されており、喜ばれているように見受けられる。</li> <li>・高齢者の独り暮らしを狙った詐欺等の被害があるとも聞くので、不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議等への参加や、地域包括支援センターとの連携を図り、より地域の資源を活用できるように努める。</li> <li>・引き続き、地域の行事やイベントの情報を収集し参加していく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の場で、地域の心配の方等の事例検討が具体的に行えるように、運営推進会議の場でご意見をいただいたり、町内の方とのかかわりの中で、事前に情報収集を行う。</li> </ul>	<p>運営推進会議の場を通じて、具体的な事例や地域の方の情報等、積極的に発言いただき、検討機会を設ける事ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で困っておられる方について情報の交換を行ったり、相談する機会になった。</li> <li>・まだ「小規模多機能型居宅介護」というものを理解されていない方も中には居られる。</li> <li>・自事業所の会議だけではなく、他事業所の会議の見学や参加を試みてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を通じて、地域の方の意見を頂きながら、小規模多機能の役割、事業所の取組みを発信していく。</li> <li>・引き続き、地域の心配な方のご相談や協力依頼を行っていく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災計画を確認させていただき、内容に基づき修正しながら事業所の防災計画を完成させる。</li> <li>・地域の防災訓練に参加する。</li> <li>・事業所の防災訓練に地域の方にご参加いただく機会を設ける。</li> </ul>	<p>地域の防災コア会議への参加や運営推進会議等での意見を参考に事業所の防災計画を見直すことが出来た。しかし地域の防災訓練や、事業所の防災訓練への参加が出来ず、次年度以降の課題と思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に事業所がどのような対応をされるのかを聞くことが出来た。</li> <li>・事業所の防災訓練は消防隊立会いの下行っているもので、一緒に何かできればと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練や防災コア会議に参加する。</li> <li>・事業所の防災訓練に、地域の方が参加・見学等ができる機会を設ける。</li> </ul>

